

いじめを見抜く教師の目をもつ＝最近こんな状況は見られませんか？＝

いじめは、陰湿で教師の目の届かない所で行われていることが多く、それを見抜く教師の確かな目が必要です。日常生活の中で、児童生徒は様々な悩みや不安に伴うサインを、言葉や表情・しぐさなどで表しています。教師は一人一人の児童生徒が救いを求めて発するどんな小さなサインも見逃さずに、未然に指導・援助することが大切です。

次の表に示すような内容には、特に注意し、常に観察する習慣を身に付け、該当する場合は個別面談を実施するなどして状況を把握することが大切です。

＜学校で＞

- はっきりしない理由で、欠席・遅刻・早退がある。
- 浮かぬ顔をしており、元気がないときがある。
- 給食を残すなど、食欲がないときがある。
- いつも遊んでいる友だちと遊ばなくなった。
- 授業時間に一人遅れて教室に入ってくることもある。
- 忘れ物が多くなったり、ポーッとしてももの思いにふけたりすることがある。
- 衣服が破れていたり、泥が付いていたりすることがある。
- 顔や手足などにすり傷や打撲の跡がある。また、わけを聞いても「自分で転んだ」などと言う。
- 持ち物がなくなったり、隠されたり、落書きされたりすることがある。
- 授業中に、発表しなくなったり、発表するとひやかしの野次が飛んだりすることがある。
- 体の不調を訴えて、保健室に行くことがある。
- 教師に何か相談したい素振りが見られ、職員室前をうろうろしていることがある。

＜家庭で＞（保護者の方との情報交換や生活記録等のノートから状況をつかむ）

- 数が少なくなり、元気がないときがある。
- 学校へ行きたくないなどと言い出すことがある。
- 食欲がなくなってきた。
- 朝、起きた時や登校時になると体の具合が悪くなったり、異常を訴えたりすることがある。
- 学校を早退することがある。
- 部屋に閉じこもって、誰とも話をしなくなった。
- 友だちの話をしなくなった。
- 衣服が汚れていたり、怪我をして帰宅したりすることがある。
- 持ち物がなくなることがある。
- 不審な電話がかかってきて、親が出ると切れてしまうことがある。
- 家庭から品物やお金を持ち出すようになった。

＜教室外で＞

- 学級の枠を越えて、他の学級の児童生徒が出入りしていないか。
- 学級の枠を越えて、何人かでこそこそと話し、教師の目を避けていないか。
- 教師が現れると、急によそよそしくなったり、しらけたりしてしまう雰囲気はないか。
- 廊下などで教師の視線から逃げようとしている児童生徒はいないか。
- 給食や掃除のとき、いつも特定の児童生徒が当番をやっていないか。
- 掃除や休み時間にトイレで群れになっている児童生徒はいないか。
- 教室以外の場所で、一人でうろうろしている児童生徒はいないか。
- 休み時間に、トイレに閉じこもっている児童生徒はいないか。
- 最近、欠席・遅刻・早退が増えてきた児童生徒はいないか。
- いつもと表情の違う児童生徒はいないか。
- 何となく気掛かりな行動の児童生徒はいないか。
- 休み時間や給食の時間にひとりぼっちでいたり、食欲がなかったりする児童生徒はいないか。

＜教室内で＞

- 何となく話したそうな素振りをみせる児童生徒はいないか。
- 授業中の発言、態度、表情、振舞いなどに、これまでとは違った点が見られる児童生徒はいないか。
- 授業中などに、ひやかされたり、野次がとんだりしている児童生徒はいないか。
- 授業中などに、いつも特定の児童生徒が道具の後片付けをしていないか。
- 持ち物がよく隠されたり、落書きをされたりしている児童生徒はいないか。
- 班決めや席替えのとき、みんなに敬遠されている児童生徒はいないか。
- 机や椅子が壊されたり、汚されていたりする児童生徒はいないか。
- 生活の記録ノート、班日誌、作文、絵などにいじめのサインが表れている児童生徒はいないか。
- 保健室へよく行く児童生徒はいないか。
- 机、椅子、ロッカーなどの名前のラベルに落書きをされたり、はがされたりする児童生徒はいないか。